

171-0014 東京都豊島区池袋4 - 17 - 10 土屋ビル4F

AA

日本ニューズレター No.99

メディアの関心は女性のアルコールク?



昨年からメディア、特にテレビ報道からの取材が相次いでJ S Oに飛び込んできた。一昨年のNHK教育TV「人間ゆうゆう」の反響は非常に大きなものであったことで、メディアの力を再認識させてもらったことは記憶に新しい。そして、その夏にやってきたグレッグ・M ニューヨークG S O所長からもメディアの活用についての提案をいただいた。伝統に則って、原理を忘れることなくできる限りの協力をして行く対応策をとってきたが、民間放送局にとってはなかなか難しい部分もあったようだ。制作会社のプロデューサー、ディレクターはアノニミティなどA Aの原理、プログラムへの関心は強く、理解が得られているように感じた。しかし商業ベースの番組作りという枠の中で苦勞されていることも事実のようである。

昨年放映に至った番組は9月にフジTV、11月にテレビ朝日とあったが、地方局の制作もいくつかあったことが報告されている。

また、昨年朝日新聞社の雑誌「アエラ」の誌面にヤングミーティングの紹介記事が掲載されたことでいくつかの取材が入ってきた。

J S Oの基本的なスタンスは、A Aを理解していただいた上でできる限りの協力をさせていただくことである。ほとんどの場合、電話での問合せから始まり、次にJ S Oに来ていただいている。そこで、資料などを使ってA Aのプログラムを知ってもらい、できればミーティングへの参加も願う。

オープンミーティングに一緒に行ってA Aの姿をみてもらうことで理解は大きく進んで来ると思う。

メンバーの中にはマスコミやメディアへのアレルギーを持つ人も少なくないと思うので、オープンミーティングとはいえ、メディア関係者のミーティング参加には少し気を使う必要もあるだろう。

今、メディア関係者の目は女性、若者へ向いているようである。1997年のメンバーシップサーヴェイでは女性の割合は18.2%であったが、2001年には20.4%になっている。実際にはもう少し比率が高いような感触は

あるが、それにしても確実に増えているのは事実だ。

また、40歳以下の世代では女性の比率の方が多いこともあってミーティング以外のA Aの集まりなどで女性メンバーの姿が多く見られるのは当然のことではある。

しばらく前まではアルコール依存症者(アルコール中毒者)は中年男性の特徴的な症状のような一般常識、社会通念があったように思う。しかし、女性の社会進出や経済成長に伴う家庭環境の変化からキッチンドリンクと呼ばれる主婦層の問題飲酒者の出現、アルコール飲料の多様化などで女性がアルコールに接する機会は増えていく一方で、当然のようにアルコールに問題を持つ人も多くなってきたと考える。

もちろん以前からもこの問題は存在していたと思うが、この病気(アルコール依存症)特有の道徳観、倫理観からの対処法で周囲によって隠されることが多く、顕在化が遅れていたのではないだろうか。

アルコールの専門病院やクリニックが増え、自助グループにつながって回復して行く姿が少しずつではあるが社会の中で認知されてきたことが女性メンバーの増加要因の一つだと思う。

アメリカ・カナダのメンバーシップサーヴェイではおよそ33~34%で三人に一人は女性という報告がされている。

マスコミ、メディアが関心を寄せるのはそれだけ問題が出てきているからだろうと思う。できることがあれば積極的に協力して行くことと多くの未だ苦しんでいる本人、家族を始めとする周囲の皆さんにA Aの存在を知っていただく機会が増えるものと考えられる。

アノニミティの原理を慎重に捉え、A Aのプログラムがアルコール依存症からの回復に有効な方法であることを伝えられるのは、私達一人一人であることをもう一度考えて見たい。メンバーそれぞれの活動がA Aを社会資源として認知されていくことの大きな意味を持っているのだと思う。



J S Oアルバイトについて

グループに送付した情報で募集をいたしましたJ S Oのアルバイトスタッフが決まりました。水谷さんは湘南グループ(神奈川県)のメンバーで若く明るい女性です。会計作業が主な業務ですが電話の応対もしていただくこととなります。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。



JSOに届けられるたくさんの情報と発信情報について

ほとんど毎日、何らかの郵送物が届いてくる。AAの共同体の中の情報、個人的な情報や問合せ、各種事務連絡、AA以外のところから送られてくる様々な情報など。

その内容を紹介すると共に、この情報を活用して行くアイデアもお聞かせ願えればと思う。

ホームページをご存知だろうか。もっともパソコンがあって、通信接続がされていることが前提ですすべてのメンバー、グループに環境が整ってはいないと考えるが、その内容を簡単に説明させてもらう。

まず序文(プレアンプル)が掲載されたページが現れ、以下の目次がついている。

“お酒を止めたい”AAを知らない一般の方々にも、理解し知って頂く為の書籍、パンフレット類です。

AAに御用は? 12の質問(AAのアルコール問題の質問)全文が載っている。

AAについての素朴な疑問 「いくたびもの出会いを重ねて P122-P131 に集録」を掲載。

(AAって具体的にどこいうところで、何をするとおののか、今ひとつ判らない。本当にそんなところに行くと飲むのをやめられるのか、誰かに聞きたくても、そんなこと聞いたらいけないうるし……。宗教じゃないっていう割りには、教会で集まっていることが多い……。だれもが抱くそんな素朴な疑問について、答えを探すきっかけを紹介したページです。

でも、これはあくまでも“きっかけ”です。100人いれば、100通りの解決方法があるでしょう。だから、ひとりひとりが自分に一番合ったやり方をAAの中から探り出すためにも、ぜひこの「素朴な疑問」のページをきっかけにして、たくさんのAAの経験を引き出していってください。)

AA(アルコールクス・アノニマス)とは? 以下のように説明をしている。

『アノニミティについて』

《アルコールクス・アノニマスはなぜ「アノニマス(無名にとどまる)なのか》

無名であることはAAの霊的な基盤となっている。一人一人が無名にとどまることによって、AAの集まりを個人支配からまぬがれさせ、AAの回復・一体性・サービスの原理をあくまでも優先させることを可能にする。AAは同等の立場の人間の集まりである。わたしたちは、AAの回復のプログラムを多くの人に知ってもらおうと、力を尽くして努めているが、ここに参加する個人を知ってもらおうとはしない。したがって、新聞、ラジオ、テレビ、映画など、マスコミや公の場でAAメンバー個人の名前を出すことはない。このようにして、メンバーのプライバシーは守られ、更には、個人として認められたいというエゴに歯止めがかけられ、全員が平等であることが明確にされる。

《グループでのアノニミティ》

AAに足を運んできた人の個人のプライバシーは確実に守られるよう、わたしたちは、お互いに最大の努力を払っている。お互いのプライバシーを守る約束も、アノニミティの意味の一つであり、AAミーティングで一人一人が自分の飲酒のトラブルにまつわる話ができるのも、そこで話された個人

の秘密をわたしたちは明かさないのである。わたしたちは、そこで分かち合われた回復の話だけを自分のものにしていく。

グループの中では、自分の姓名を名乗ることも、連絡先を教えることも、一切明かさないので、その人の自由である。どこまで自分のプライバシーを明かすかは自分で決められる。

《公の場でのアノニミティ》

AAメンバーとしてマスコミに出る場合、顔を見せることと姓名を名乗ることはしない。AA以外の機関が主催する公の会でAAメンバーとして話をする際も、フルネームは出さない。いずれの場合も、AAを代弁するのではなく、一人のメンバーとして話をする。なお、AAメンバーであることを表明しない限りは、マスコミに出ても、公の場で自分の姓名や立場を明かしても、伝統に反するものではない。

【以上、「A.A.at a glance」「アノニミティをご存知ですか」「AAグループ」から抜粋】

こちらAA「専門家の皆様へのニュースレター」と「メンバーシップサーヴェイ2001」をPDFファイルで掲載。

AAの書籍と出版物・新刊案内

各地のAAサービスオフィス AAと連絡をとるために
全国AAミーティング会場リスト 全国のミーティング会場の住所案内が掲載されている。

各地のイベント案内 毎月更新しておよそ3ヶ月分を掲載している。(ボックス916のカレンダー情報がベースになっている。)

ニューヨークGSOのホームページとリンクしている。

以上のようなホームページでAAの情報を広く伝えて行こうと考えている。まだ開いていない方は是非一度ご覧いただけるようお願いしたい。

次は郵送やFAXで送られてくる情報の案内をしよう。定期的に送られてくる各地域の情報は、ほとんどが各セントラルオフィスによって様々なものが一括してやってくる。各委員会の議事録、セントラルオフィスや地域委員会の収支報告、地域、地区、グループのフォーラム、ミーティング、イベントの案内や周年記念イベントの紹介などなど。

また、各地域、地区、グループから直接案内が送られてくることも、FAXが送られてくることもある。送っていただいた案内は掲示板に吊ってJSO来訪者の目にとまるようにしている。

また、メンバーからの問合せや質問などにもお応えし、できる限りのサービスに努めている。

日本の外からの情報も頻りに届く。ニューヨークGSOを始めイギリス、アイルランド、ドイツ、フィンランド、ブラジル、オーストラリアなどのGSOからニュースレターや機関紙などが届けられている。その他の国々からも記念集会やラウンドアップの案内などが届けられる。イベントの案内はBOX916のJSOコーナーに載せている。英語以外の言葉に関してはボランティアの力が必要ではあるが、貴重な資料として活用している。

AAの周りからの情報もとても多い。同じプログラムを使っている自助グループや他の自助グループから、また出版関係医療機関や福祉関係機関などからの案内や情報が毎日のように届けられている。

このような情報は直接メンバー、グループに届けることはできないもの、もし欲しい情報があれば問い合わせてもらいたい。できる範囲での対応をして行きたいと考えている。 JSO



国際協力献金のお願い

1935年6月10日 AA 創始者の一人ドクター・ボブの『今日一日』が始まった。そして、1950年まで「私たちのプログラムとは愛とサービスだ」と言って、AA のメッセージを運びつづけた。

もし、ビルとボブの出会いがなかったら、私たちの穏やかな『今日一日』もなかった。そして、1939年の春、まだ名前すらなかった約100人ほどのメンバーが自分たちの『飲まない体験を知らせる決意によって「アルコールクス・アノニマス(ピックブック)」が発刊された。

1965年トロント

「国際コンベンション宣言」

誰かが、どこかで助けを求めたら、必ずそこに AA の(愛)手があるようにしたい。それは私の責任だ。

私たちは AA プログラムの実践で回復が達成可能であることが確実に分かっている。また、アルコールには境界線がなく、人種や階級の隔たりなく人々を襲う病気であることも分かっている。

第12回 WSM 報告書(p 12)記述より

「わたしたちが選ばれたのは」神は他のアルコールの回復を助ける力を、学者や政治家でもなく夫人たちや母親たちでもなく、おまえを選んだ。それはお前が世の中で見捨てられたものだからである。そこら中にアルコールの孤独な心から出る悲惨な叫びが聞こえないか？

おまえならそれを聞き分けてくれるとわたしはおもったのだ。

「これが真実と考えられれば、まだ苦しんでいる仲間のアルコールを癒す手助けができる「特権」が神から与えられたということが無条件で確信できるだろう」と報告されている。さらに、

報告書(p 13)に

1940年の初めから、この活動を実践する重責は、ニューヨークのGSOが担ってきた。それによって、この地球の果てまでもAAのメッセージが運ばれた。2百万人もの人たちが死や苦しみを宣告されたアルコールの牢獄から抜け出すことができた。このような世界的サービスをニューヨークのGSOの特権のままにしておいてよいのだろうか？ それでは、サービス機構を備えた国々が、この特権を分ち合う責任を回避しているのではないだろうか？ 世界的にメッセージを運ぶ活動の役割を公平に分担する時期がもうそこまで来ていることをここに出席した方々は同意してくれると思う。

1966年10月ビルがWSM開催構想を常任理事会にアプローチし、1969年に各国にこの構想の書簡を送り、第1回WSMがスタートし、

1990年第11回WSMで、AA文書の翻訳、出版、販売が財政上できない国を援助するために、「国際出版基金」が創設されたのです。

「2001年AOSM」の報告で、AAは150か国以上に存在し、ピックブックは44か国語に翻訳され、カンボジア語、スロバキア語、インドネシア語、中国語への翻訳が進行中。12ステップと12の伝統の本は15か国語以上で出版され、AAのパンフレットは、ビルマ語、ヘブライ語、トルコ語の新しい翻訳を含め、88か国語で入手できるようになった。と報告されています。

私は、自立という「伝統7」によつて、AAはほかとは違った全くユニークな集まりであり、そして「自立」とは、AAのメンバーである私が「献金」することを意味していると理解しています。

昨年に全国のAAメンバーから寄せられた「国際協力献金」

で、韓国GSO所長、幹事、財務、インターグループ議長の4名の方を「日本評議会」に招待することができました。「この分ち合いを母国に持ち帰り、韓国AAのフェローシップに役立たせます」と、力強いメッセージを残して帰国しました。今年6月香港で開催する「アジア/オセアニア・サービス・ミーティング」にモンゴルAAのメンバーからのうれしい支援依頼のメールがJSOに飛び込んできました。

私、「今井」は、今回の『国際協力献金』を「特権月間」として「献金」しようと思っています。全国のAAメンバーのひとり一人が、この「国際協力献金」に自分なりの「テーマ月間」を決め、「献金」していただけたらと、願っています。

「献金」をお願いする期間は、6月10日を挟んでの6月8日から15日間といたしました。ご協力よろしく願います。

WSM評議員 今井

モンゴルとの通信



2月23日、JSOのホームページに1通のメールが入ってきました。モンゴルからのメールでした。

さっそく返信をして通信が始まりました。以下にメールの内容の一部をお知らせし、6月の国際協力献金へ温かい協力をお願いしたいと思います。

素晴らしいお便りをいただき、何と云ってよいか・・・ご親切なお知らせをありがとうございます。

モンゴルのAAについて少し紹介させていただきます。AAのミーティングは1998年に始まりました。現在、全国で1500人以上のメンバーと26のグループが存在しています。

モンゴルの人口は240万人であることを考慮してください。モンゴルのAAセントラル・オフィスは2001年に設けられています。

いくつか抱えている問題があります。

例えばですが：

ブックレットやAAの他の資料の翻訳がありません。翻訳料が高額です。AAの国際的なミーティング、大会などの経験と技能が不足しており、参加したのも数えるほどです。等々。香港で開催されるAAの第5回AOSMにはとても参加したく思っています。参加するに当たってのスポンサーに関して、ご提案をいただけないでしょうか？ (翻訳：JSO)

Tymee (Tumendemberel)

AOSM事務局のオーストラリアのアンに相談をして、日本ができるだけのバックアップをして行こうとWSM評議員(野村、今井)から常任理事会へ申し入れがありました。

今、ニュージーランドとも相談をして何とかAOSM(アジア・オセアニアサービスミーティング)への参加を実現させたいと考えています。(US\$2000ぐらいの経費が必要になると考えています。)

モンゴルからはミーティングのスケジュールも届けられています。首都ウランバートルでは6ヶ所のミーティング会場で月曜日から金曜日までミーティングが行なわれているとのこと。

地方でも19ヶ所のミーティングが開かれています。詳細についてはJSOにご連絡ください。

AOSM(アジア・オセアニアサービスミーティング)は7月の6、7、8日に香港で開催を予定されていますが、どうも困ったことに「SARS」がどのようになるか心配をしているところです。 JSO

常任理事選挙のお知らせ

2003 年度で任期が終了する東日本圏選出の金田理事（出版担当）、全体サービス選出の木村理事（議長、BOX 916 担当）、伊藤理事（財務担当）の後任を選出する選挙が行なわれます。

もうすぐ各グループに選挙管理委員会から告示が送られますが、地域評議員がこの選挙の有権者になっています。予定では6月末からの選挙になると思います。どうぞ日本の全体サービスの役割りを担う常任理事の選出に関心を持って見守っていただきたいと思います。

中四国地域集会参加報告書 評議会の良心」

評議会議事委員会：細野、荒井

第7回全国評議会が2月9～11日に、中四国地域評議員2名とA類常任理事1名が欠席という状況で開催されました。開催宣言後直に議事委員会議長より「中四国地域の評議員が出席出来ないため、A類常任理事が参加された時に投票権のバランスが崩れてしまうのでどの様に扱うか？」と緊急動議が出されました。議事委員会として事前に評議会前の評議員オリエンテーションの中で、「今回中四国地域では臨時地域集会を開くなどをして精一杯の努力をされたが、いろいろな地域の事情により評議員の選出が出来ず今回は不参加になった」と経緯を説明し話し合う機会を持ちました。話し合った結果、「不参加」と言う表現は止めて「欠席」と言う表現しよう！それは、欠席していても今評議会の中に中四国地域の存在は在るのだからという意見でまとめ、それならば、この評議会の内容を中四国のメンバーにどうやって伝えるのか？という課題を残しました。評議会では、結局、緊急動議の必要は無いと意見がまとめられ動議は取り下げられました。

その後、課題の「中四国地域のメンバーにどうやって伝えるか？」を下記の流れで話し合い、3月15日（土）開催された中四国地域集会に議事委員会議長：細野評議員と私の2名がオブサーバーとして参加することが出来ました。

評議員会：重要な内容なので分科会の議事委員会で話し合い全体会議で報告する

分科会：この3日間の速報を地域委員会議長宛に送付 中四国地域委員会・地域集会・ラウンドアップ等で日程調査、出向ける評議員に託す。今年度中に評議員の選出が成された場合、従来担当するはずだった委員会を担当してもらう。評議会報告と評議員選出の呼びかけに行く費用評議員4名分の予算請求。全体会議：～は承認され、～は予算が承認された。

中四国地域集会では評議会の良心を伝え、評議会報告と評議員の選出のお願いをさせて頂いたところ、幸いにも評議員1名の立候補がありその場で信任投票となり2003年度前期評議員が選出されました。その後、分担金の説明、広報・病院施設委員の選出、30周年記念誌編集の協力をお願いをさせて頂き地域集会メンバーと話し合い、評議会の一部分を理解して頂けたと感じました。駅までの帰り道を車で送ってくださったメンバーが「評議員の必要性をこれまで感じていなかったけれど、具体的にハッキリと理解したわけではないが今回の件で評議員が必要だと感じました」と話をしてもらい、評議会の良心の一部は届けられたように感じました。

細野議長と共に他地域の集会に参加させて頂きその地域の現状と一緒に話合う事ができ、またAAメンバーの献金でこの素晴らしい機会を与えられた事に感謝させて頂きます。

福岡サービスフォーラムのお知らせ

10月3、4、5日に福岡で第4回全国サービスフォーラムが開催される。

実行委員会のメンバーがプログラムなどに知恵を絞っているところだ。サービスフォーラムも中部北陸（名古屋）、北海道（札幌）、東北（郡山）と回を重ねてきた。

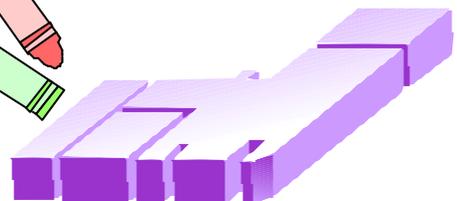
サービスの喜びを分かち合うという大きなテーマのもとに全体サービス（ゼネラルサービス）とは何なのか？自分の回復とどのような関係があるのか？たくさんの全国から集まったメンバーと共にAAと出会えたこと、共に生きて行くことの喜びが伝えられてきた。

問題があれば解決の糸口が見つかるかも、うまく行った経験を聞くことができるかも……様々な分かち合いが、今年も全国から多くの参加者のもとに行われることを期待する。

第4回全国サービスフォーラム in 福岡 2003

10月3(金)4(土)5(日)
アクション福岡

福岡市博多区東平尾公園2-1-3



AA日本ニューズレターNo. 99

編集・発行：AA日本ゼネラルサービスオフィス（JSO）〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ：<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>